

組み合わせの基本原則

南信高体連卓球代表専門員会

長野県卓球連盟高体連支部南信役員会

1. ポイント対象大会

シングルス	
全日本ジュニア	8月
新人戦	10月
国体予選	4月
南信総体	5月

【組み合わせのためのポイント利用】

- ← 国体予選 + 南信総体
- ← 南信総体 + 全日本ジュニア
- ← 全日本ジュニア + 新人戦
- ← 新人戦 + 国体予選

2. シングルス ランキングポイント（南信）

1位	15点
2位	12点
3位	9点
ベスト8	6点
ベスト16	3点
ベスト32	1点

3. 組み合わせの基本原則

■ シングルス

【ランキング順位決定のルール】

- ・同ポイントの場合は、より大きいポイントを持つ者が上位になる。
- ・最大ポイントが同じ場合は、前大会のポイントが多い者が上位。
- ・さらに同じ場合は、同じ学校の場合は校内ランキングが上の者、また、他校の場合は前前前大会のポイントが多い者が上位。

- ① 上記の大会のランキングポイントにより、1位から32位までを順位に従ってシードする。
- ② 同一校の選手は同ブロックに偏らないように、ランクの近い選手と入れ替えをする。
入れ替え方は、3～4・5～8・9～16の範囲ごとに行う。
その際、ランクの下位の選手と入れ替えるようにする。
- ③ シード32以外のポイント獲得者と各学校の上位者は、33～64シードの位置に配置する。
- ④ 中学生以下については、シード対象大会および中学生以下の南信大会・県大会の実績によりポイントを考慮する。
- ⑤ それ以外の選手については、①～④の手順後に抽選により組み合わせを決定する。
- ⑥ 参加人数が少ないとき、ポイント1点は考慮せずに配置していく場合がある。

※ 県総体の際に、年間ランキングベスト8入賞者にランキング証を授与する。

※ 伊那市長杯の組み合わせについては上記ポイントを参考にする。

※ 総体・新人戦のシングルスで同一校から9名以上ベスト16に入った場合は、対象者3名以内の場合はリーグ戦、対象者4名以上の場合はトーナメント戦で決定戦を行う。
その際ポイントは考慮せず、くじにより組み合わせを作る。

■ ダブルス

- ① 2人の合計ポイントの高いペアからシードする。
- ② 同一校の対決を避け、ブロックを分散する。

■ 学校対抗

- ① 総体は新人1位～8位をそのままシードする。
〔新人戦では、8位決定戦まで行う〕
- ② 新人戦は総体の1位～4位をそのままシードする。
5位～8位はシードするが、ポイントを考慮しながら抽選および位置を決定していく。
- ③ 8位以外の有力な学校は、ポイントを考慮しながら抽選および位置を決定していく。

学校対抗	
新人戦	10月
南信総体	5月